

このコース地図は2021年10月調査に基づいて作成しています。
風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがあります
ので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ=近鉄 名古屋イベント係
☎(059)354-7007

●てくてくまつぷはイラストマップ
ですので、お出掛けの際は詳しい
地図を各自でご用意ください。

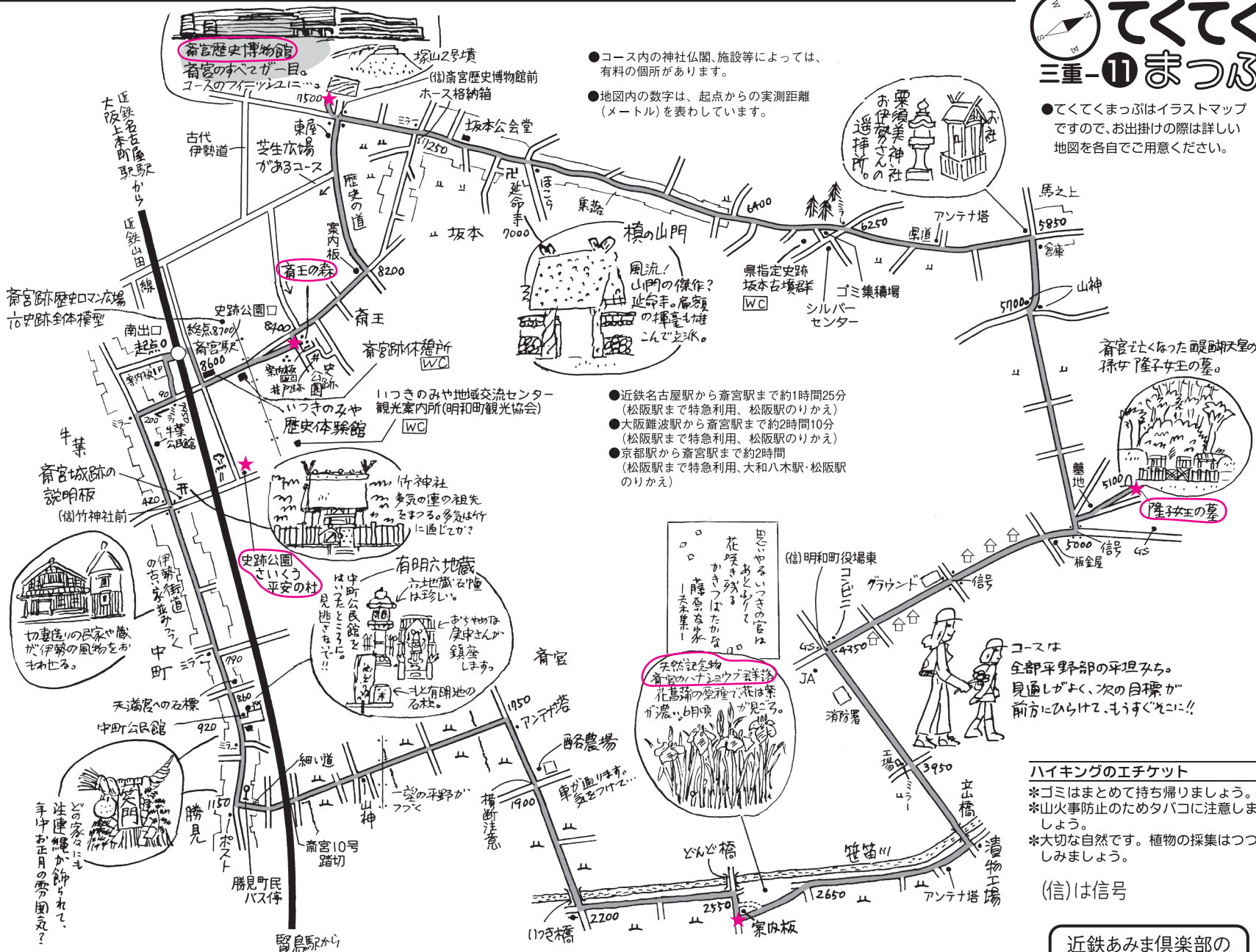
コースのあらし 齋宮駅を出発してしばらくすると伊勢街道に出る。1.4kmばかり行って線路をわたり、笹笛川沿いにある齋宮のハナショウブ群落へ向かう。あたり一帯は農業の町(多気郡明和町)らしく一面の田畑、この風景は隆子女王の墓までつく。次の栗須美神社跡から齋王の森まではのどかな農村地帯、集落の中にある延命寺の墳垣の山門は見もの。道標が整備され、平坦な歩きやすいコース。

伊勢街道 追分(四日市市)と伊勢神宮を結ぶ道で、大坂・大和からの道も合流していた参宮街道とも言う。近鉄山田線の南側を並行して走り、独特の「軒がんざ板」や「妻入人家」が点在。絵馬で有名な竹神社、室町時代建立の六地藏石幢が街道筋に。

齋宮のハナショウブ群落 1936年、国の天然記念物に指定。熊本ショウブの原種といわれ、6月中旬に紫色の花が花ひらく。通称ドンドバナ。また齋王の森にはハナショウブ園がある。

齋宮 天皇の代理に伊勢神宮へ遣わされていた女性(齋王)の宮殿と齋宮寮という役所があったところ。飛鳥時代から南北朝時代までおよそ660年間置かれた。東西2km、南北0.7kmの約140ヘクタールが国史跡に指定され、今なお発掘調査が続いている。齋王の森は「幻の宮・齋宮」を現代まで伝えた貴重な場所。また隆子女王の墓や栗須美神社も齋王ゆかりの地。

齋宮歴史博物館 国史跡「齋宮跡」の中に建つ歴史博物館。「伊勢物語」「源氏物語」などの古典文学のほか、現在もなお発掘調査の成果などから齋宮をわかりやすく紹介している。また、美しいハイビジョン映像「齋王群行」も上映している。月曜休館。☎(0596)52-3800



●約9キロ [齋宮駅~齋宮のハナショウブ群落~齋王の森~齋宮駅]

齋宮跡の道コース